

今の時期に 大騒ぎバラエティ なんか見られるか!

テレビは震災関連のニュースやワイドショーか、タレントが大騒ぎするバラエティの二極化になってしまった。不謹慎かもしれないが、ひととき原発や余震を忘れてテレビをつける人もいるだろう。かといってバカなバラエティを見て笑う気にもなれない。オレは最近、NHKのニュースをチェックしながらBS11を見ている。BS11のニュースは地上波のような騒々しさがなくていい。

BS11の田中康夫氏のような シンプル番組が求められる



い。震災に重ね、04年に起きた中越地震の際、当時の長野県知事だった田中氏は、県独自の募金を集め、4000人の長野県職員を被災地に派遣し、ご用聞き活動を展開。しかも地元メディア、県議会の反対を受け

は逆に新鮮だ(ふだんは教授やジャーナリストとの対談がある)。BSは他局もオーソドックスな紀行ものや静かなトークなど落ち着いて見られる番組が多くていい。このようなシンプルな番組作りが今後求められていくだろう(経費削減と節電にもなる)。大手テレビ局は巨大になりすぎて、食わせるために大人数に仕事を渡らせなければいけない。だから内容より利益優先になり、今の状態になった。

これからは、多チャンネルシンプル番組の時代になるだろう。作れるのはBS11や東京ローカルの東京MXテレビはじめ、まだ規模はでかくないが成長過程にあるBS、CSなど新しい局だ。民放は一度、辞める人が大勢出ないと内容は変わらないだろう。

(ペン芸人・松野大介)